

## 豆型穿孔機 No.50B 取扱説明書

2024年より刃の交換時のねじを六角レンチ対応に変更しています。

- P2・・・2024年以降モデル
- P3・・・それ以前のモデル

プラス株式会社

この商品についてのお問い合わせは、  
お問い合わせセンターまで **0120-00-0007**

PLUS Corporation MADE IN JAPAN

ホームページアドレス <https://bungu.plus.co.jp>

この製品は紙に針を刺して直径3.8mmの穴を開けるための機械です。開口部はくり抜かれません。ご使用の際にはこの説明書を良く読んで、正しく安全にお使いください。

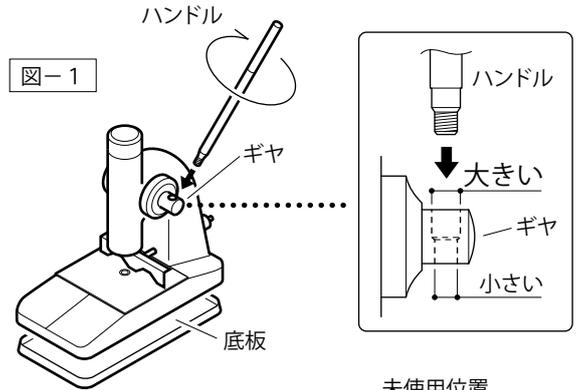
## ⚠ 注意 (安全上のご注意)

この表示を無視して誤った取り扱いをしますと  
障害または物的損害が発生する可能性があります。

- 乱暴な取り扱いをしたり製品の用途以外に使用しないでください。けがや破損の原因になります。
- 刃の下に指を入れないでください。けがの原因になります。
- 不安定な場所で使用しないでください。けがや破損の原因になります。
- 手以外（足、工具等）ではハンドルを操作しないでください。けがや破損の原因になります。
- 紙以外（樹脂板、金属板等）の穴空けに使用しないでください。けがや破損の原因になります。
- 最大穴あけ能力を超えて穴あけしないでください。けがや破損の原因になります。
- 部品がゆるんだままで使用しないでください。けがや破損の原因になります。

## ■使用方法

1. 図-1のように、ハンドルのネジ部をギヤの大きい方の穴に差し込み、しっかりと締め付けてください。
2. 穴あけは図-2のように、紙止めナットで穴の位置を調整し、穴あけ位置の方向に手でハンドルを下ろします。
3. 抜きカスは底板を外して捨ててください。
4. 刃が破損した場合や、切れ味が悪くなった場合はすみやかに交換してください。

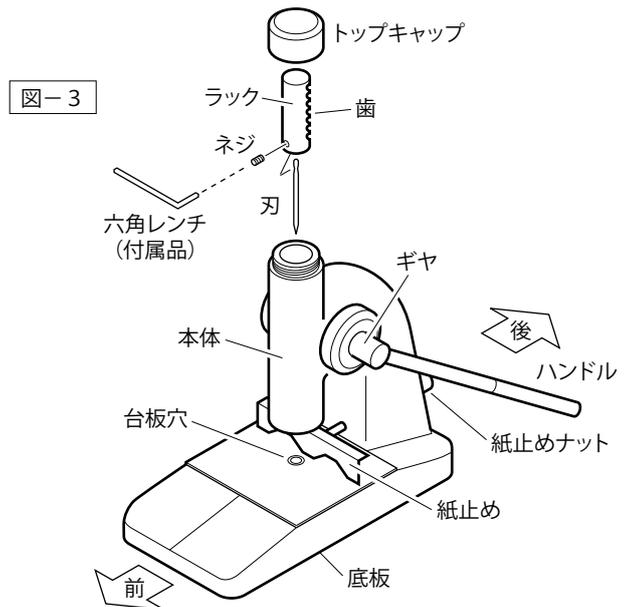
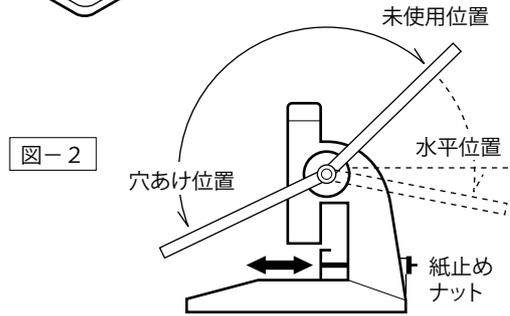


## ■刃の交換方法

### ※交換用の刃は

別売の専用替刃 (25-747) をお買い求めください。

1. 図-3のように、トップキャップを本体から外します。
2. ハンドルを図の位置にするとラックが出てきますので、本体から取り出します。
3. ラックのネジを付属の六角レンチ (B=2.5) で外し、古い刃を新しい刃と交換します。
4. 図-2のようにハンドルを水平位置から下にした状態で「ラックの歯を製品後方に向けて」本体に入れます。
5. ハンドルを図-2の穴あけ位置まで回し、刃先が台板穴にしっかりと入っていることを確認します。
6. トップキャップを取り付け、ハンドルを未使用位置にして、刃が本体に入っていれば完成です。
7. 5で刃が台板穴に入っていない場合や6で刃が本体から出ている場合は、再度1からやり直してください。



## 仕様

商品コード: 25742      品名: 豆型穿孔機      型式: No.50B  
 材質: 本体・ハンドル / 鋼材、底板 / 50%再生ポリエチレン  
 最大穴あけ能力: 厚さ10mmまで     パンチ奥行き: 7~30mm  
 穴の大きさ: 直径3.8mm      製品質量: 1150g

## プラス株式会社

この商品についてのお問い合わせは、**0120-00-0007**  
 お問い合わせセンターまで

PLUS Corporation      MADE IN JAPAN

ホームページアドレス <https://bungu.plus.co.jp>

## ⚠ 注意 (安全上の注意)

1. 刃の下に指を入れないでください。ケガの原因になります。
2. 使用の際はテーブル・机上などの平らで安定した場所で行ってください。転倒しケガの原因となります。

### ● 使用上の注意

1. ハンドル操作は手以外(足, 工具等)では行わないでください。事故や破損の原因となります。
2. 紙以外(樹脂, 鉄等)の穴明けには使用しないでください。事故や破損の原因となります。

### ● 使用方法

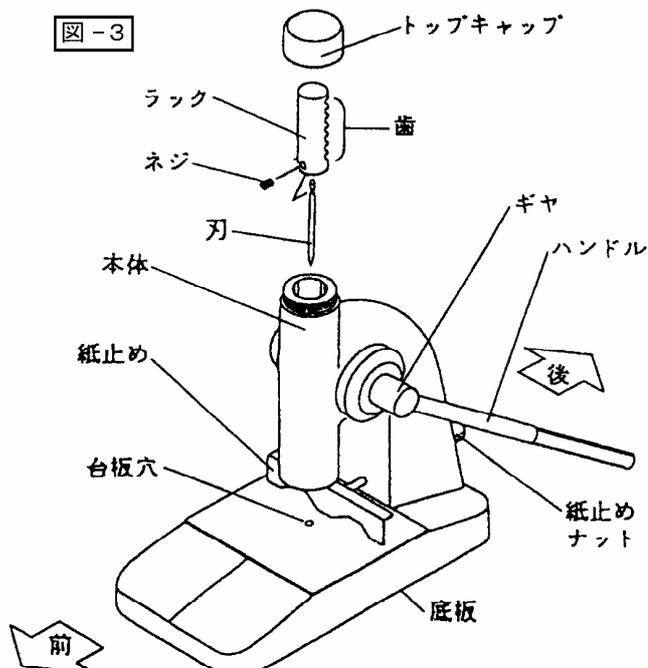
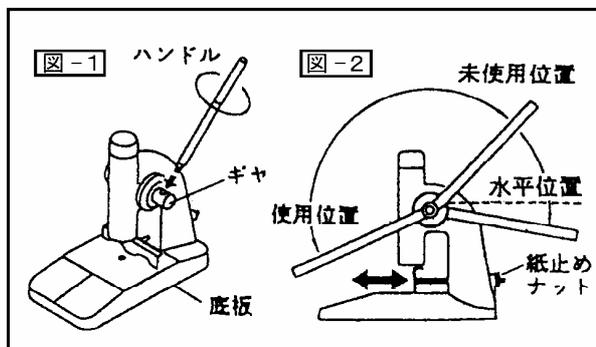
1. 図-1のように、ハンドルのネジ部をギヤに差し込み、しっかりと締め付けてください。
2. 穴明けは図-2のように、紙止めナットで紙穴の位置を調整し、使用位置の方向に手でハンドルを下ろして行ってください。
3. 抜きカスは底板(樹脂製)を外すことにより、捨てる事が出来ます。
4. 刃が破損した場合や、切れ味が悪くなった場合は、すみやかに交換してください。

### ● 刃交換方法

1. 図-3のように、トップキャップを本体から外します。次にハンドルを、図の位置にするとラックが出て来ますので、それを取り出しラックのネジをマイナスドライバーを使って外し、古い刃を抜いて新しい刃と交換します。
2. 交換後、組付ける際はハンドルを図-2のように、水平位置よりやや下にし、ラックの歯部分が製品真後を向くように、注意して本体に入れてください。
3. ハンドルを図-2の使用位置まで下ろし、刃先が台板の穴にしっかりと入っていることを確認します。
4. トップキャップを付けハンドルを未使用位置にして、刃が本体内に入っていれば完成です。
5. 3で刃が台板の穴に入っていない場合や、4で本体から刃が出ている場合は、再度1からやり直してください。

※ 別売の専用替刃(25-747)をお買い求めください。

最大穿孔能力	(厚さ10mmまで)
パンチ奥行き	(7mm~30mm)
孔径	(φ3.8)
製品重量	(1150g)



お問い合わせ先

■ 本品に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

お問い合わせセンター / ☎ 0120-000-007  
 プラスステーションナリー株式会社